

新しい年を迎えて

(一社)日本建設機械施工協会中国支部
支部長 河原能久

新年、明けましておめでとうございます。

平成25年の新春を迎え、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

昨年は、第30回夏季ロンドンオリンピックでの史上最多のメダルの獲得とか、東京スカイツリーの開業といった明るい話題がありました。しかし、北関東での竜巻、7月の九州北部豪雨、11月末には猛吹雪により北海道室蘭では大停電の発生と、異常気象に伴う災害が多く発生した1年であったと思います。また、倉敷市での海底トンネルの埋没事故、新潟の八箇峠トンネルガス爆発事故、中央道笹子トンネルでの天井板の崩落事故等々、建設事業に係わる重大事故も発生するなど、あらためて安全の確保の重要性が認識されました。

一方、5月には定期検査などで国内全ての原子力発電所の稼働が停止され、夏季の電力消費の抑制が求められるなかで再生エネルギーへの期待感の増大など、あらためて我が国の今後のエネルギー政策のあり方が俎上にあがりました。

さらに、竹島、尖閣諸島などの領有権等をめぐり近隣諸国との外交的軋轢が生ずるなど多難な一年でもありました。

このような中、年末には衆議院の総選挙が行われ、民主党政権から再び自民・公明両党の連立政権へと国政の舵取りが委ねられました。新政権には、まずはデフレ経済からの脱却と景気の回復に向けた経済・金融対策と、失墜した外交問題の回復に期待するところです。

さて、当協会は、昨年4月1日から「一般社団法人 日本建設機械施工協会」として、新たにスタート致しました。従前の「日本建設機械化協会」として昭和27年の設立以来、建設業界を初め関係各位に対し、いささかなりとも貢献できたと考えておりますが、これからも「学術団体」としての本協会の役割について、会員の皆様と認識を共有しながら中国地域の発展に寄与して参りたいと思います。

これから景気対策としての公共事業への期待感も生じてきていますが、決して無駄な事業と言われることなく、品質を確保しながら事業の効率化、合理化を図りつつ、良質な社会資本を次の世代に引き継いでいくことが重要です。

そういった観点からも、当中国支部におきましては、建設施工システムの活用・高度化を推進し、「建設生産性の向上」「建設コストの縮減」「品質確保の促進」等の調査研究活動のための体制強化や、サービス向上に寄与すべく情報化施工技術を初め各種講習会や研修会等を開催するなど、その活動を推進しているところです。

社会情勢が大きく変化し、また環境に対する考え方が多様化する中、日本建設機械施工協会としましては、これからの社会における「真」の必要性、あり方等について議論し「改善」「改革」を図ることとしておりますので、会員の皆様方をはじめ、関係各位のご指導ご鞭撻をお願いするところです。

新しい年「平成25年」が、希望に満ちた年となりますよう、また、「安全」で「安心」して暮らせる「平穩」な年でありますことを祈念し、年頭のご挨拶と致します。

平成25年1月



《情報化施工》のさらなる充実へ

中国支部では事業活動の重点施策として事業計画に「情報化施工技術の普及・促進」を掲げ、今年度も各地において情報化施工講習会（セミナー）、研修会を随時開催し好評を博しています。

今回は、去る8月28日（火）・29日（水）の両日広島市南区出島地区において開催しました「情報化施工（体験セミナー）講習会」、また、9月13日（木）及び26日（水）にはそれぞれ島根県雲南市及び岡山県西粟倉村において開催した「情報化施工技術現場研修（講習）会」について、その概要ならびに実施結果を報告します。

研修（講習）は、座学（PCを操作して3D設計データの作成）と実習（実際に情報化施工用機械に乗車してあるいは情報化施工対応測量器により実測する等、情報化施工の感覚を養うなどの体験型）を組み合わせた形で行い、共に実際に体験することを重視した、より効率的に「技術」の理解度を深めてもらう講習としています。

なお、今後も年度末に向け、また、新年度においても各地において各種講習会（セミナー）等を開催し充実を図っていきますので、ホームページ等で確認のうえ積極的な参加をお願いします。

情報化施工（体験セミナー）講習会（広島）

○日 時：平成24年8月28日（火）13：30～17：30

29日（水）9：30～17：30

○場 所：（座 学）広島県立産業技術交流センター

：（実 習）メッセ・コンベンション等交流施設用地

（内 容）

講 話 情報化施工に関する最近の動向

座 学 情報化施工対応システムの詳細

・TS出来形管理の実務（3D設計データの作成体験）

実 習（班編成により、参加者全員が全ての機械・器具の実機体験を体験）

・3D-MC ドーザーシステム体験

・3D-MG ショベルシステム体験

・TSGPS 転圧管理システム体験

・TSを用いた出来形管理システム実測体験



3D-MC(3次元マシンコントロールシステム)情報化施工講習会(雲南)

○日 時：平成24年9月13日(木) 14:00~17:00

○場 所：中国横断道尾道松江線吉田掛合工区・大吉田北地区舗装工事(施工者：鹿島道路(株))
(内 容)

座 学 TSを用いた出来形管理技術の概要

実 習 TS設置説明・グレーダ稼動
データコレクタによる精度検証
TSを用いた出来形管理技術



鳥取自動車道管内ICT情報化施工研修会(西粟倉)

○日 時：平成24年9月26日(水) 13:00~16:00

○場 所：(座 学) あわくら会館

：(実 習) 鳥取自動車道長尾地区改良その2工事(施工者：奥村組土木興業(株))

(内 容)

講 話 情報化施工に関する最近の動向

座 学 情報化施工対応システムの詳細

実 習 TSによるグレーダマシンコントロール
TS-GPS転圧管理システム体験
TSを用いた出来形管理システム実測体験
TS及びデータコレクタによる精度検証



第31回 新技術・新工法発表会の開催報告

○日 時：平成24年10月15日（月） 13：15～17：00

○場 所：広島県立産業技術交流センター（広島市中区千田町3-7-47）

○参加者：67名

○議 題

- 1) 講 話 （アンケート結果）
 新技術・新工法の活用促進について：国土交通省中国地方整備局 企画部 特に興味があった発表課題
- 2) 技術発表
 - ①最新の舗装用機械について（振動マカダムローラetc）：大林道路(株)…………… 15%
 - ②津波・危機管理対応水門開閉機：豊国工業(株)…………… 33%
 - ③道路橋RC床版取換用高強度軽量プレキャストPC床版：(株)IHIインフラ建設…………… 23%
 - ④無線遠隔操作方式の平板載荷試験装置の開発：(株)大本組…………… 6%
 - ⑤水路トンネル調査ロボット：復建調査設計(株)…………… 42%
- 3) 映像発表 （複数回答）
 - ①大規模災害を想定した超長距離からの遠隔操作実証実験
 : 国交省九州地整、(財)先端建設技術センター、(株)CNインターボイス



○参加者の声（アンケート）

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の発表会の開催に活用させていただきます。

- 1) 今後の発表会のあり方について
 - ・今後も技術概要のみならず、施工事例の紹介をよろしくお願いします。
 - ・分野（土木・機械・電気等）ごとの発表会があれば、更に参加しやすいと思います。
 - ・現在の発表形式で特に問題ありません、今後情報化施工に関する内容を多く取り扱ってほしいと思います。

2) 今後の発表会の内容(複数回答)

安全・安心	38%
コスト削減	25%
環境	29%
リサイクル補修・補強	27%
IT（情報技術）	35%
その他	6%

3) 今後の業務への活用

活かせる	72%
活かさない	0%
どちらともいえない	28%

4) 参加者の職業

製造業	21%
建設業	56%
コンサルタント	19%
官公庁	2%
その他	2%

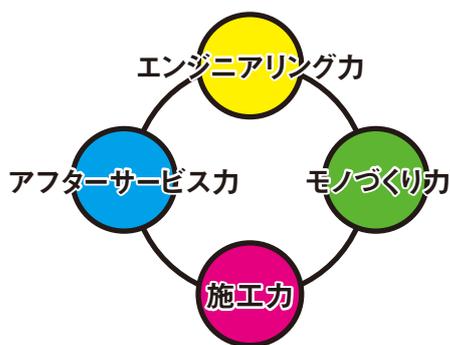
第31回新技術・新工法発表会の開催にあたり、国土交通省中国地方整備局ならびに技術発表をいただきました会員企業の関係者の方々には、ご協力誠に有り難うございました。

会員紹介コーナー

会社紹介 — プラントメーカーならではのトータルサポート —

株式会社 日立プラントテクノロジー

「エンジニアリング」、「モノづくり」、「施工」、「アフターサービス」の総合力を結集して、社会と産業の幅広いインフラ分野にトータルソリューションを提供しています。



主要製品

ポンプ設備

排水ポンプ



トンネル換気設備

ファン



本社／東京都豊島区東池袋 4-5-2

取締役社長 東原 敏昭

TEL 03-5928-8001

HP <http://www.hitachi-pt.co.jp/>

中国支社／広島市中区紙屋町 2-2-2

支社長 近澤 徹

TEL 082-249-2460 FAX 082-249-2708

地域と共に

100年企業への前進



HARA
株式会社原工務所

総合建設業／太陽光発電システム



太陽のチカラを、未来のチカラに。

本社／島根県江津市敬川町 1306 番地 3

代表取締役 原 諭

TEL (0855) 53-0311

<http://www.harakoumusyo.co.jp>

川本営業所／島根県邑智郡川本町川下 1357 番地

TEL (0855) 72-0191

浜田営業所／島根県浜田市後野町 1865 番地 2

TEL (0855) 42-2700

平成24年度 大規模津波防災総合訓練を開催

開催日:平成24年9月2日(日)
主催:国土交通省、岡山県、岡山市

東日本大震災から得られた貴重な教訓を生かした 地域住民と防災関係団体・機関との合同防災訓練

大規模津波総合防災訓練は、平成16年12月26日に発生した「スマトラ島沖地震(インド洋沖地震)」の津波災害をきっかけに始まり、以来全国で毎年1箇所実施しています。

今回は瀬戸内海に面する岡山県を舞台に、多くの関係機関や住民が参加し、東日本大震災の教訓を生かして、大規模な訓練を展開しました。



■ 訓練参加者:約7,000名(来賓及び一般見学者含む)

■ 訓練参加機関一覧(97機関)

中国管区警察局、中国総合通信局、中国財務局、中国四国厚生局、中国四国農政局、近畿中国森林管理局、中国経済産業局、中国四国産業保安監督部、中国地方整備局、中国運輸局、岡山労働局、大阪航空局岡山空港出張所、国土地理院中国地方測量部、大阪管区気象台、広島地方気象台、岡山地方気象台、第六管区海上保安本部、水島海上保安部、玉野海上保安部、広島航空基地、中国四国防衛局、陸上自衛隊中部方面総監部、陸上自衛隊第13旅団、海上自衛隊呉地方総監部、海上自衛隊第24航空隊、航空自衛隊西部航空方面隊司令部、自衛隊岡山地方協力本部、岡山県、鳥取県、広島県、香川県、岡山県警察、鳥取県警察、岡山市、岡山市水道局、岡山市消防局、岡山市教育委員会、倉敷市、玉野市、笠岡市、備前市、瀬戸内市、浅口市、早島町、日本赤十字社岡山県支部、岡山赤十字病院、岡山県赤十字血液センター、岡山市赤十字奉仕団、赤十字飛行隊岡山支隊、川崎医科大学附属病院、(一社)岡山県病院協会、(公)岡山県看護協会、(社)岡山市医師会、岡山市医師会連合会、(公)日本河川協会、NHK岡山放送局、岡山放送(株)、テレビせとうち(株)、岡山エフエム放送(株)、西日本高速道路(株)中国支社、本州四国連絡高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)岡山支社、中国電力(株)岡山支社、西日本電信電話(株)岡山支店、(株)NTTドコモ中国支社、岡山ガス(株)、水島ガス(株)、津山ガス(株)、(社)岡山県警備業協会、(社)岡山県建設業協会、(社)岡山県建築士会、(社)岡山県トラック協会、(一社)建設コンサルタンツ協会中国支社、(一社)全日本漁港建設協会岡山県支部、(社)中国建設弘済会、(一社)日本アマチュア無線連盟岡山県支部、(社)日本埋立浚渫協会中国支社、(社)日本海上起重技術協会中国支社、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本建設機械施工協会中国支社、(社)日本建設業連合会中国支社、(一社)日本自動車連盟岡山支部、(一社)日本道路建設業協会中国支社、(社)日本補償コンサルタント協会中国支社、中国旅客船協会連合会、(福)岡山県社会福祉協議会、(福)岡山市社会福祉協議会、水島コンビナート地区保安防災協議会、DOWAホールディングス(株)、中国地方の防災に関する連絡会

訓練の詳細な状況は国土交通省中国地方整備局ホームページ(<http://www.cgr.mlit.go.jp/>)をご覧ください。

国土交通省コーナー

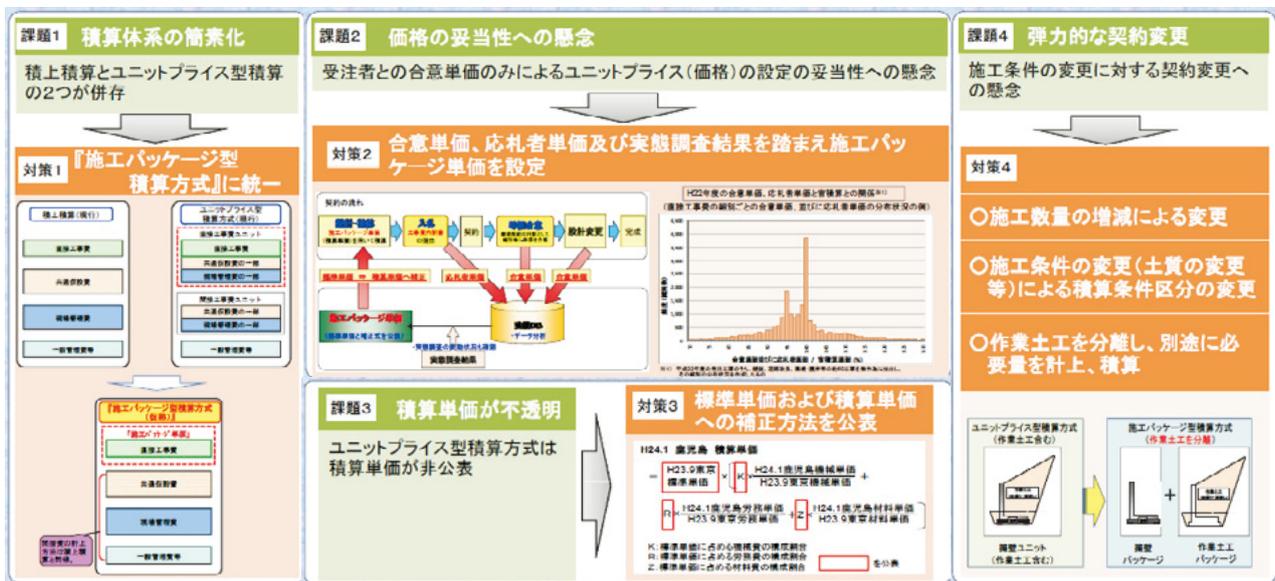
「施工パッケージ型積算方式」の試行導入について

国土交通省では、受発注者双方の積算労力の軽減等を目的とした「ユニットプライス型積算方式」を平成16年度より一部の工事で試行してきましたが、当該積算方式について価格の妥当性への懸念、価格の透明性確保等の課題が指摘されてきたところです。

このため、積算の効率化の一層の促進と「ユニットプライス型積算方式」の課題を改良した新たな積算方式として、『施工パッケージ型積算方式』を土木工事において試行導入することとしました。

「施工パッケージ型積算方式」の概要

- 直接工事費の積算を機械経費・労務費・材料費を含めた1つの「施工パッケージ単価」で計上する。
- 共通仮設費、現場管理費及び一般管理費等の間接費は、従来の積上積算方式と変わらず率式等を用いて計上する。
- 「施工パッケージ単価」は受注者との合意単価と応札者単価を活用しつつ、複数年の単価の傾向や実際の施工状況等も踏まえた上で、標準単価として設定する。
- 標準単価等を公表し、「施工パッケージ単価」の価格の透明性を確保する。



「施工パッケージ型積算方式」の今後

- ◆平成24年10月1日以降に入札する土木工事より試行を開始。
- ◆平成24年度の「施工パッケージ単価」は、舗装、道路改良、築堤・護岸の細別について先行して設定する。
- ◆平成24年度の試行状況を踏まえた上で、施工パッケージ単価を順次拡大。

お知らせコーナー

今後の行事予定

日時	区分	行事名	内容	備考
平成25年 2月8日(金)	研修会	情報化施工研修会 会場：広島市安佐北区大林地内 定員：30名	ICTを活用した新しい機械化施工技術である「情報化施工技術」のうち、平成25年度より一般化が予定されている「TSを用いた出来形管理技術」や「マシンガイダンスシステム」等について、可部バイパスの実際の改良工事内において「デモンストレーション」を行う「研修会」	会員及び一般
平成25年 3月中旬	運営委員会	運営委員会（3月期） 会場：未定	平成25年度の事業計画等	運営委員

平成24年度 建設機械施工技術検定（実地）試験の実施

今年度も相変わらずの猛暑の中の8月25日～28日、広島市南区出島のメッセコンベンション交流施設用地において建設機械施工技術検定（実地）試験を行いました。

試験の実施状況は次の通りです。

	実人員	1級	2級	合計
受験予定者	236	68	212	280
欠席者	2	1	1	2
受験者	234	67	211	278

単位（人）。※各級及び合計欄は種別毎の延べ人数

「中国地方建設技術開発交流会」が開催されました。

今年度の「中国地方建設技術開発交流会」が10月23日（火）の島根会場を皮切りに中国地方の5会場において開始されました。

当中国支部からは次の会員3社が発表されましたので報告します。

（広島県会場：10月30日（火））

前田工織(株)：ジオテキスタイルによる土構造物の耐震化技術について

（岡山県会場：11月9日（金））

(株)大本組：貝殻利用技術「JFシェルナース」

豊国工業(株)：樋門用簡易フラップゲート

編集後記

新年明けましておめでとうございます。去年は夏が暑かったせいか、今年の冬は年明けから例年より一段と寒く感じそうですね。

去年の春、関東から広島へ初めて転居してきた私にとって、まだまだ中国地方は不慣れではありますが、約9カ月間生活してきて感じた事をここで紹介させていただきます。

まずは何と言っても気候が大変良い事です。去年は特別雨が少なかったようですが、4月から以降で傘をさして通勤や外出した記憶が数える程しか有りません。こんな経験は今まで無かった事です。

次に、気候同様に人の暖かみを身近で感じ取れるところです。老人の荷物を持ってあげたり、視覚障害者の方の手を引いてあげたり、感心する若者の行動を目にする事が多いように感じます。

あとは、あるTV番組でも紹介されたようですが、女性の方言が可愛らしい事です。すっかりこちらの方言に染まった幼い我が子達ですが、娘の発する広島弁に日々癒されております。